

---

# 新人指導に向け、写真を取り入れた プライミング手順書と動画作成の取り組み

金 辰徳、加藤佳津子\*、坊良由可\*、本間真貴\*、阿部百子\*  
佐藤 勇\*、阿部明彦\*\*、福田歴視\*\*、北島正一\*\*  
由利組合総合病院 MEセンター、同 透析棟\*、同 泌尿器科\*\*

## Trial of Priming Procedure Text with a Picture and Making Animation for New Face Guidance

Tatsunori Kon, Katsuko Katoh \*, Yuka Boura \*, Maki Honma \*, Momoko Abe \*

Isamu Satoh \*, Akihiko Abe \*\*, Hisami Fukuda \*\*, Seiichi Kitajima \*\*

ME Center, Department of Urology and Hemodialysis, Yuri Kumiai General Hospital

### <はじめに>

透析棟に配属になると、透析医療の特殊性に対して不安を感じる人が多く、特に透析機械操作や手技の複雑さに対する不安は大きい。その中でプライミング技術の習得は安全な透析につながる重要な工程と言える。当院では、新人へのプライミング教育は指導者に一任されていたため、個々人による技術のばらつきが認められた。医療の質の向上と均質化が叫ばれる昨今、プライミング技術はその最たるものの一つである。

そこで、この命題のもと、統一した指導方法を確立するため、写真を取り入れたプライミング手順書(以下、新手順書とする)と動画を作成・改訂したので報告する。

### <研究目的>

新しいプライミング手順書と動画を作成し、これが指導内容の充実化に貢献できるかどうか検討する。

### <研究方法>

期間：2005年4月11日～9月22日

対象：透析棟スタッフ15名

方法：調査研究(質問紙法と聞き取り調査)

1. 旧手順書についての聞き取り調査を実施。
2. 調査結果をもとに旧手順書を改訂。
3. 新手順書をもとに動画(CD-ROM・ビデオ・DVD)を作成。
4. 作成した新手順書と動画を元に、学習会とそれについての質問紙調査を実施。

倫理的配慮：独自に作成し本研究以外には使用しないことを明記したアンケート調査協力依頼書

を配布。

## <結果>

聞き取り調査の結果、旧手順書で指導を受けたスタッフからは「読んでも理解できなかった。イメージしにくく、聞きながら覚えた。自分なりの手順書を作った。」などの意見が聞かれた。旧手順書で指導を行なったスタッフからは「細かい手技的なことや、注意点は自分で補足している部分が多かった。言葉で表現しにくい部分は、実際にやってみせていた。」という意見が聞かれた。

それらの意見をふまえ、新手順書と動画を作成した。新手順書には、補足していた部分を文章に盛り込み、写真を入れた。動画には、解りにくい所をアップにし、注意点に説明を加えて作成した(図1)。

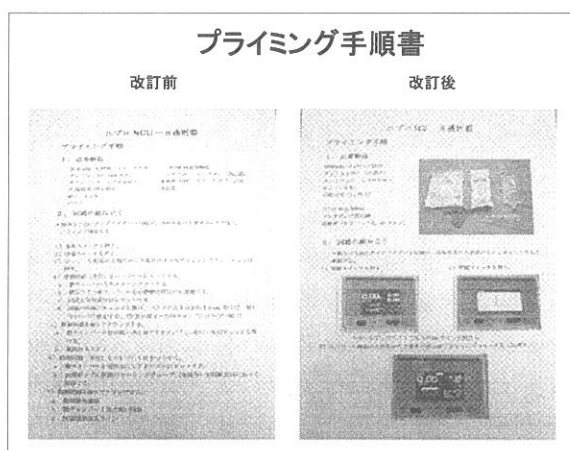


図1

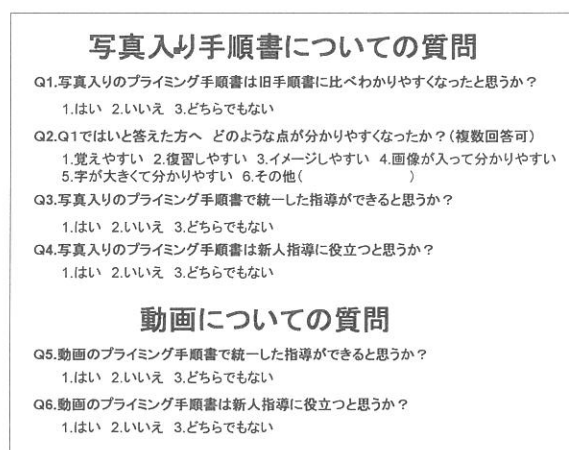


図2

アンケートの結果、新手順書は旧手順書に比べスタッフ15名全員が解りやすいと答えている(図2)。

どのようなところが解りやすくなったかでは、複数回答でイメージしやすい15名、写真が入って解りやすい14名、復習しやすい12名などであった(図3)。

新手順書と動画で統一した指導ができると思うかという質問に対して、どちらも1名だけがいいと答えた。いいと答えた理由として「今まで慣れたプライミング方法を変えることがインシデントにつながるのではと不安だ」という声が聞かれた(図4)。

プライミング操作手順として活用できると思うかは、どちらもスタッフ全員「はい」であった。また、「統一した指導のためにスタッフ全員がもう一度、新手順書と動画で学ぶ必要がある。」「動画を作成したことで自宅学習にも活用でき、早期技術習得が図れると思う。」という意見が聞かれた(図5)。

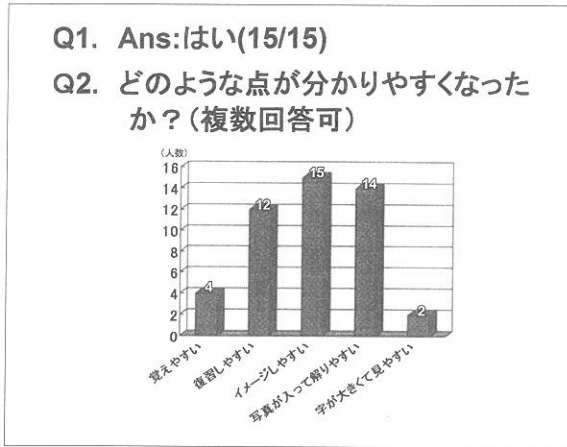


図 3

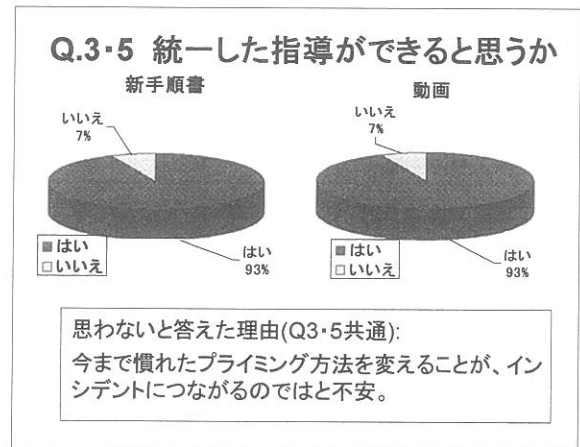


図 4

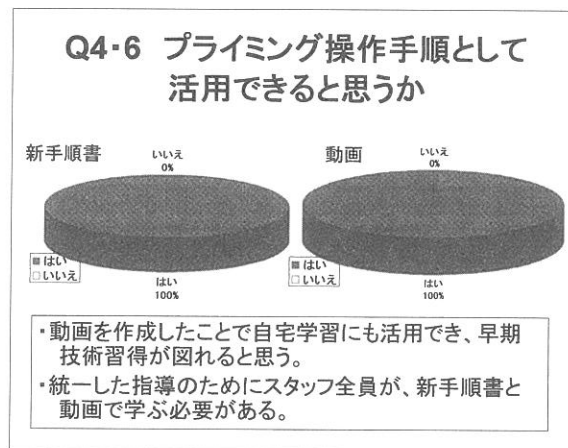


図 5

### <考 察>

宮下美子氏<sup>1)</sup>は「技術の指導では、言葉で伝えたり動作を見せるだけではなく、迷ったり混乱したときに振り返ってくり返し参照できるものが必要である」としている。このことから手順書と動画は有効なツールと言える。また、学習者・指導者のお互いの基本となる正しいプライミング操作手順として確立することにより、安全な透析を提供できることにつながる。さらに動画は視覚・聴覚に訴えかけ、理解しやすく新人指導に有効であると考えられる。

正しいプライミング方法を定着させるためには、くり返し練習することが必要である。これから新手順書を使用し検討を積み重ね、客観的なツールとして活用していきたい。

### 引用文献

1) 宮下美子：血液透析技術教育、日本腎不全看護学会第17回教育セミナー、セミナーレポート、P10～12、2004.

---

## 参 考 文 献

- 1) 竹澤真吾、山家敏彦編著：血液回路の組み立て、ナースのための透析機器攻略マニュアル、メディカ出版、P66～71、2004.
- 2) 岩満裕子編集：透析療法の理解とケア、学研、P41～43、2004.
- 3) 中村哲朗、他：新人指導マニュアルの統一化－プライミング・回収の改訂－、長野県透析研究会誌、Vol.26、No 1、P9～11、2003.
- 4) 大坪みはる：はじめての透析室1ヶ月の研修シミュレーション2研修第1週目②、透析の準備から終了までの一連の操作、透析ケア、Vol.10、No 3、P237～242、2004.